



【CDDP+PMX shorthydration療法について】 (シスプラチン+ペメトレキセド)



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
パンビタン末	葉酸を含む 総合ビタミン剤	1日1回 内服																						
アロカリス注 パロノセトロン注 デキサート注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																						
ペメトレキセド注	抗がん剤	10分																						
硫酸Mg注	副作用予防	1時間																						
ラシックス注	利尿剤	10分																						
シスプラチン注	抗がん剤	1時間																						
※ ペメトレキセド注による副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコパール(ビタミンB12)の注射を行います。																								



この週は
お休みです。



この週は
お休みです。



腎臓を保護するため、無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
自覚 症状	食欲不振・吐き気																							
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																							
	皮疹																							
	皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																							
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																								
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																							
手足のしびれ																								
手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																								
検 査 値	白血球減少																							
	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを中心に行いましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																							
	赤血球減少(貧血)																							
	貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																							
	血小板減少																							
出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																								
腎機能低下																								
顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																								
肝機能低下																								
体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																								



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。